

12月議会報告

令和2年第5回定例会本会議 個人質問（12月3日）

2020年第5回定例会において、一般個人質問を行いました。



今般の市長選挙において、小山市への思いを訴え市民は支持され
今後どのような市政運営を行っていくのか大いに注目しています。
**私も市民目線を貫く政治家の一人として、公約の一つ一つを
しっかりと説明し、是々非々の議論を尽くし施策の方向性を導き
出すこと、このことが議会の役割だと考えています。**
**物事のプロセスは、総論があり、各論があり、具体論があり実行
論がある**と思います。

就任後約5ヶ月が経過した現在において、総論の想いはあっても具体論に乏しく踏み込んだ施策の展開が見えてこないと感じており、これらを踏まえた上で質問を行いました。

1 小山市の総合施策について ① 市長の柱となる施策について

○具体的に何をしたいのか？

【質問】 小山市の総合政策を進める上で、最も重要な政策の柱について、基本的な考え方について所見を伺いました。

【市長答弁】 小山市が目指すべき方向性、基本方針として以下の4項目を柱とし、まずは「田園環境都市おやま」のまちづくりを具現化していく。

- ①速やかな財政再建
 - ②市民が求める政策の実現
 - ③「田園環境都市おやま」のまちづくり
 - ④徹底した市民との対話と連携
- コンパクトシティの考えのもと、都市環境の開発と農村環境の保全とのバランスがとれたまちづくりを推進していく。

2 各種施策について ① 都市整備行政について

○市民・企業・行政一帯のまちづくりを！

【質問】 「田園環境都市おやま」のまちづくりを進めるにおいて、今後、都市整備行政の施策が変化するのか？また、その方向性について質問しました。

【執行部答弁】 都市の活力を維持していくため、コンパクト+ネットワーク化を推進しさらに、都市の将来像を示すマスターplanの整備や、将来の緑化の保全・推進を示す基本計画の改定に着手する。

【要望】 まちづくりは、行政が方向性を示し、市民や民間が地区に適した考え方で進むことが一つのプロセスであるが、今後は、**市民・企業・行政が一帯となり、まちづくりのプランを進め、小山駅周辺を始め、活気あふれる街並みになることを強く要望**

② 産業観光行政について

○従来政策は見直すのか？

【質問】 宅地や工業団地の造成など、既存企業を守る政策は様々なメリットをもたらすため重要であるが、公約との整合性を踏まえ、従来施策の方向性について質問しました。

【執行部答弁】 今後も、市独自の各種支援策を活用しながら、引き続き企業への支援を行っていく。

【要望】 今後も、**市外から人や企業を呼び込むと同時に、これまで小山市の発展に寄与してきた既存企業に対しても、しっかりと支援する**よう要望

③ 教育行政について

○雨漏りを許すのか？

【質問】 教育基本方針は「生命尊重」「人権尊重」を基本としているが、新教育長を迎える今後の教育方針と施策の方向性について、及び、雨漏りや老朽化など、学校施設の老朽化に伴う修繕の方針について質問しました。

【教育長答弁】 本市の教育基本方針に基づき、推進課題の実現に向け努力を継続している。今後、生涯学習の社会教育分野にも注力していきたい。

【執行部答弁】 学校施設の老朽化により、改修が一部必要な状況にある。財政状況も鑑み計画に基づき長寿命化を図り、維持管理のコスト削減しながら、学校施設の安全・安心を確保していく。

【要望】 **安心して勉強できる環境は特に重要、計画の前倒しを含め早急な改修**を強く要望

④ 保健福祉行政について

○市民の不安にどう応えるのか？

【質問】 新型コロナ感染症と、インフルエンザの同時流行の市民の不安に対し、どのように対応し対策をしていくのか？また、近隣の自治体ではPCR検査費用の一部助成を行っているが、新たな対策や助成を検討しているのか質問しました。

【執行部答弁】 同時流行を防ぐため、

- ①これまでの基本的対策の実施のお願い
- ②妊婦等に対する予防接種の助成を実施
- ③感染拡大、重症化防止を目的とするPCR検査の一部助成（一定の高齢者や基礎疾患有する者）

[国の令和2年度補正によるもの、令和3年1月～3月に実施済]

【要望】 新型コロナウイルス感染症の対応については、市長会、経済団体及び各種団体など、**横の連携も強化し進めること**を要望

⑤ 財政について

○基本方針に変化はあるのか？

【質問】 速やかな財政再建を行うための考え方について質問しました。

【執行部答弁】 市税の減収により厳しい財政運営が想定される中、総合計画に掲げる本市が目指すまちづくりの実現を図るには、

- ①現状を鑑み、中期的な収支見通しを立案
- ②重点事業に優先順位をつけ事業の選択に取組む必要があると考えている。

【要望】 限られた財源において速やかに財政再建を行うには、既存建物を予防保全的にメンテナンスを行うことで延命させ財政を抑えることや、「**勇気を持って変えるもの**誇りを持って守るもの」により見極め、**重要事業の選択を行っていくことを強く要望**

※以上が第5回定例会の一般個人質問になります。ご一読いただきありがとうございました。

6月議会報告

令和2年第3回定例会本会議 個人質問（6月9日）

○今こそタイムリーな支援を！

コロナウイルス感染症は未だ感染拡大を続け、国を始め各自治体では様々な生活支援策を講じているが充分ではない。緊急かつ家庭環境に配慮し、市独自で現金給付ができないか質問しました。

- 執行部答弁
- 市独自の支援策として（生活形態や家庭収入等に大きく影響した方々に対して）
 - ①ひとり親世帯への一世帯あたり1万円の上乗せ支給
 - ②保育園・保育所等の副食費及び学童保育のクラブ等の使用料の返還
 - ③小中義務教育学校生への図書カード配布
 - ④4月から7月までの4ヶ月分の水道基本料金の減免
 - 追加の支援策として
 - ①子育て世帯応援給付金 ②妊婦臨時応援給付金 ③児童生徒夏期給食費応援無償化事業 等その他、経済対策、新生活様式の実践に対する支援策として、飲食専用券付プレミアム商品券を発行する他、不動産所有者、企業、医療機関等にも様々な取組により効果的に支援していく。

要望 支援は**必要な人に、必要な内容で、タイムリーに行なうことが大切**であり、これらの支援では様々な家庭環境に対応できていない。現金給付を行っている自治体もあるのだから**今こそ市長がリーダーシップを發揮し、支援策をより強烈に進めること**を強く要望